

ふりがな 氏名	しおた しょういち 塩田 翔一	職名	准教授
取得学位	博士（医学）		
学歴	広島大学大学院医歯薬保健学研究科医歯薬学専攻精神神経医科学教室 早期修了		
受賞歴等	日本うつ病学会第 10 回医療保健分野学会奨励賞 日本うつ病学会第 11 回医学分野学会奨励賞 日本うつ病学会第 11 回医療保健分野学会奨励賞 日本心理学会第 82 回学術大会優秀発表賞		
所属学会	日本心理学会		

教育活動	
(主な担当科目)	
2024 年：臨床心理実習 I（心理実践実習 II），臨床心理実習 II，心理実践実習 I，卒業研究，専門演習 II A，心理学検査実習，教育・学校心理学，公認心理師の職責，心理実習，心の健康教育に関する理論と実践，臨床心理学概論，専門演習 I B，専門演習 II B，心理学的支援法，心理学実験，課題研究 I，課題研究 II	
2023 年：臨床心理実習 I（心理実践実習 II），臨床心理実習 II，心理実践実習 I，卒業研究，専門演習 II A，心理学検査実習，教育・学校心理学，公認心理師の職責，心理実習，心の健康教育に関する理論と実践，臨床心理学概論，専門演習 I B，専門演習 II B，心理学的支援法，心理学実験	
2022 年：臨床心理実習 I（心理実践実習 II），臨床心理実習 II，心理実践実習 I，卒業研究，専門演習 II A，心理学検査実習，教育・学校心理学，公認心理師の職責，心理実習，心の健康教育に関する理論と実践，専門演習 I A，専門演習 I B，専門演習 II B，心理学的支援法，心理学実験	
2021 年：フィールドワーク実習、学校心理学、生徒指導論（進路指導を含む）、教育心理学、梅光プロジェクト IV、子ども未来学入門 II、梅光 Basis II、子どもの理解と援助、教育相談、教育発達相談（小）、梅光プロジェクト III、子ども未来学演習 I	
2020 年：なし	
2019 年：学習・発達論 A、学習・発達論 B	
(その他)	
・ 特になし。	

研究活動	
(著書等)	
・ Through Your Eyes - Research and New Perspectives on Empathy. 単著 IntechOpen (Association among fantasy, metacognition, and autobiographical memory in self-compassion during empathy and its psycho/neuro/biological basis. を担当) 2024/5	
・ Understanding Emotional Regulation: New Research 単著 Nova Science Publishers, Inc. (Psychological, neurological, and biological bases of fantasy for emotional metacognitive process and fostering them by picture book.を担当) 2024/5	



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

- ・ Neuroethics in Principle and Praxis - Conceptual Foundations 共著者：Michio NOMURA IntechOpen (Dynamic and Static Models of Body-Mind Approaches from Neurobiological Perspectives. Practical Ethics for Researchers and Practitioners in the Medical and Educational Fields.を執筆) 2018/11
- ・ 日本うつ病学会 NEWS 共著者：横山仁史他 日本うつ病学会 (閾値下うつの安静時デフォルトモードネットワークに対する行動活性化の効果.の執筆を補助) 2018/4
- ・ 日本うつ病学会 NEWS 共著者：岡本泰昌他 日本うつ病学会 (2. 行動活性化の抑うつのメタ認知機能への効果—fMRI 研究—.を執筆) 2018/4
- ・ Depression Journal 共著者：尾崎紀夫他 メディカルレビュー社 (Research Update 行動活性化の抑うつのメタ認知機能への効果—fMRI 研究—.を執筆) 2017/4

(論文等)

- ・ Maladaptive fantasy predicts negatively distorted self and other mental representation: A consideration of child abuse from psycho/neuro/biological perspectives. 共著者：S, Oura 他, Environment and Social Psychology. 9(7) 1-11 2024/4
- ・ 絵本の物語，言葉と，語りがそれぞれ持つ役割 —ファンタジーを育む新たな療育用の絵本を作るための考察—. 単著，東海学院大学研究年報 9 35-38 2024/3
- ・ 構造化アーサナシーケンス—ノ型の考案. 単著，東海学院大学紀要 (17) 73-77 2023/
- ・ 身体症状を訴える不登校生徒のカウンセリング. 共著者：財満 鎮人，東海心理臨床研究. (18) 16-25 2023/3
- ・ 二次的外傷性ストレス障害の心理・神経・遺伝学的基盤とヨガによる介入の試み，単著，東海学院大学紀要, (16), 103-109, 2022/12
- ・ Role of Fantasy in Emotional Clarity and Emotional Regulation in Empathy: A Preliminary Study, 共著者：Michio NOMURA, Frontiers in Psychology Personality and Social Psychology, pp. 1-8, 2022/11
- ・ 病弱児の抱える病理と 支援のあり方に対する一考察：ヨガを用いた自律神経系の調整方法，共著者：倉本京子，子ども未来学研究, 39-43, 2021/12
- ・ 肢体不自由児の抱える病理と支援のあり方:ヨガによる身体への気づき (メタ認知) の改善，単著，子ども未来学研究, 3-7, 2021/12
- ・ Foster of imagination by yoga and its psycho/bio basis, 単著, International Journal of Yoga and Allied Sciences, 193-194, 2021/10
- ・ 閾値下うつに対する行動活性化の 2 つの治療機序と新たな介入法としてヨガの可能性：心理・神経学的観点からの考察，単著，予防精神医学, 41-52, 2021/1
- ・ Short-term stress enhances individuals' adaptive behaviors: A near-infrared spectroscopy study, 共著者：Michio NOMURA, Neuroreport, 579-582, 2020/5
- ・ 別離による父性喪失によって愛着形成に問題が生じた非行少女に対する臨床心理学的支援の展開，単著，龍谷教職ジャーナル, 75-92, 2020/3



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

- Enduring effects of a five-week behavioral activation program for subthreshold depression among late adolescents: an exploratory randomized controlled trial, 共著者 : Koki TAKAGAKI 他, Neuropsychiatric Disease and Treatment, 2633-2641, 2018/9
- Effects of behavioral activation on the neural circuit related to intrinsic motivation, 共著者 : Asako MORI 他, BJPsych Open, 317-323, 2018/6
- Effects of behavioral activation on default mode network connectivity in subthreshold depression: a preliminary resting-state fMRI study, 共著者 : Satoshi YOKOYAMA 他, Journal of Affective Disorders, 56-163, 2018/10
- The neural correlates of metacognitive function of other perspective: A multiple regression analysis study, 共著者 : Yasumasa OKAMOTO 他, Neuroreport, 671-676, 2017/5
- Effects of behavioural activation on the neural basis of other perspective selfreferential processing in subthreshold depression: a functional magnetic resonance imaging study, 共著者 : Yasumasa OKAMOTO 他, Psychological Medicine, 877-888, 2016/11
- Mechanisms of behavioral activation for late adolescents: Positive reinforcement mediate the relationship between activation and depressive symptoms from pre-treatment to posttreatment, 共著者 : Koki TAKAGAKI 他, Journal of Affective Disorders, 70-73, 2016/6

(研究発表等)

- 第 23 回日本精神保健・予防学会学術集会シンポジウム非薬物療法による neuromodulation. 行動活性化が閾値下うつつのメタ認知とそれにかかる内側前頭前野へもたらす効果 (話題提供, 招聘有), 第 23 回日本精神保健・予防学会学術集会, 2019/11
- 日本心理学会第 82 回大会日本心理学会若手の会キックオフシンポジウム若手にとってこれから必要なこと. 若手研究者として自分の将来を考えた場合に (話題提供), 日本心理学会第 82 回大会, 2018/9
- 日本心理学会第 81 回大会公募シンポジウム記憶の窓からみえる社会的認知とその障害の心理・脳メカニズムうつ傾向とメタ認知との関係 (話題提供), 日本心理学会第 81 回大会, 2017/9
- 日本コミュニティ心理学会第 20 回記念大会シンポジウム地域コミュニティを支える「認知症ダイケア」の構想について —建築学と臨床心理学 (大学) 脳科学が協働する地域づくりのコンセプト—(話題提供), 日本コミュニティ心理学会第 20 回記念大会, 2017/7
- 日本うつ病学会第 11 回医学分野学会奨励賞受賞講演行動活性化の抑うつのメタ認知機能への効果—fMRI 研究—, 日本うつ病学会第 13 回大会, 2016/9

## 社会活動

- 2018 年 4 月～現在 日本心理学会会員



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

- ・2018年8月～現在 Frontiers Psychology reviewer editor
- ・2018年9月 日本心理学会第82回大会若手の会企画若手のための進路相談会: 相談役
- ・2019年1月～現在 日本心理学会若手の会会員
- ・2023年9月～現在 北九州市立長尾小学校でのヨガを用いた臨床・研究活動



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY